

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	<p>【2号機使用済燃料プールのスキマサージタンク補給時における一次系冷却ポンプ(B)停止について】 当直員が、2号機使用済燃料プールのスキマサージタンクの水位が低下していたため、補給操作(水張り)を実施した際、「差流量大」警報が発生し一次系冷却ポンプ(B)が自動停止し、プール冷却が停止した。 原因は、補給開始前に「一次系差流量大」のインターロックを除外する手順となっていたが、それを失念して操作したため。 その後、一次系冷却ポンプ(B)を起動し、運転状態に問題がないことを確認し、使用済燃料プール冷却を再開した。使用済燃料プール一次系冷却ポンプ(B)が停止していた間の使用済燃料プール水温度の上昇は0.1℃のため、プールの冷却に支障なしと判断。 今後、詳細な原因調査と対策を検討予定。</p>	G I	8月20日	<p>2020.10.9再審議にてグレード変更 G II → G I 【理由】 実施計画違反の疑いがあることから、不適合グレードを「G I」に変更した。</p>
2	<p>【共用プール燃料取替制御盤室空調機における室内ユニット溢水状態表示発生につて】 当直のバトロールにおいて、共用プール建屋の燃料取替制御盤室空調機操作盤に点検が必要ことを知らせる「P-10(室内ユニット溢水検出)」の表示が発生していることを確認。 現場を確認したところ、パッケージエアコンタイプ(室内機4台、室外機2台の構成)のうち、室外機2台が停止していた。なお、室内機からの水の滴下等はなし。 空調機を一旦停止し、再起動を行ったが、室内機2台、室外機2台が運転状態とならなかった。 原因は調査中であるが、空調機本体にも不具合が生じている可能性もあることから、一時的な処置として空調機を停止した。 別の建屋換気空調系が運転されており急激な室温上昇はないと思われること、及び、燃料取替作業は実施していないことから、燃料取替制御室空調機停止による影響はないと判断。 今後、詳細な原因調査・対策を実施予定。</p>	G III	8月12日	